



## American President Lines 概史

1848年	アメリカン プレジデント ラインズ社の前身、Pacific Mail Steamship Company 設立。
1867年	Pacific Mail 社、太平洋西岸/日本、中国間定期航路を開設し、外輪船“Colorado”号を就航。
1900年	Dollar Steamship Company (後に Pacific Mail 社を合併し、APL の母体となる) 創立
1917年	Pacific Mail 社 マニラ、シンガポール、カルカッタ、コロombo間の定期航路を開設。
1923年	Pacific Mail 社全ての船名を米国歴代大統領の名前に変更。“President XXX”の船名の始まり。
1925年	Dollar Steamship Company、米国海運局が Pacific Mail 社に委託していた5隻の船の運用権、及び Pacific Mail 社が1867年以来持っていた太平洋/極東航路の客船、貨物の運行権を取得。
1938年	米政府、Dollar Steamship Company の約90%の株を取得し、社名を American President Lines (APL) に変更。
1946年	第二次世界大戦終結に伴い、APL は商業ベースの世界一周航路を再開。翌年に豪華客船 President Cleveland、President Wilson を太平洋航路に投入。
1952年	米政府、APL を18億ドルで石油王、Ralph K Davis 氏率いる投資家達に売却。
1961年	APL は第2次世界大戦中、軍事物資を効率よく運ぶ為に開発されたコンテナを商業ベースで利用開始。コンテナ、バルク貨物を運搬するシーレーサー (Searacer) 型のセミコンテナ船導入。
1972年	改造型シーマスター (Seamaster) 型フルコンテナ船を投入。ロスアンゼルス、横浜、バルチモア、香港、マニラのターミナル設備を一新しコンテナ対応に。
1973年	3隻のペースセッター (Pacesetter) 型新造フルコンテナ船を投入。President Wilson を最後に外洋の旅客船サービスを中止。
1974年	船隊はフルコンテナ船15隻、セミコンテナ船5隻の計20隻。保有コンテナは23,000本。母港をサンフランシスコ港から対岸のオークランド港に移転。
1975年	スエズ運河再開に伴い、世界一周航路を再開。
1976年	北米大陸ミニランドブリッジ貨物の増加に伴い、パナマ運河経由オールウォーター東海岸サービスを中止。
1977年	世界一周航路を中止。同サービスに使用していた5隻の船を太平洋航路に転用し、trans-Pacific サービスの拡充を図る。
1978年	米国内でマイクロブリッジ (現在の IPI サービス) を開始。APL のスルーB/L で積地より米国内陸地点への一貫輸送を可能にした。
1979年	アラスカ出し冷凍コンテナの Weekly Service 開始。他社に先駆け“Intermodal”を導入し、北米大陸横断 (シアトル～ニューヨーク間) の Liner Train サービス開始。Natomas Company が APL 株式の約46%を取得し APL は Natomas Company の子会社に。
1980年	中国と北米を結ぶ定期コンテナ航路開設。アラスカのダッチバーバーに本格的コンテナ埠頭を開設。バンコック向けの定期コンテナサービス開始。ロサンゼルス、ニューヨーク間で Liner Train サービス開始。高雄 (台湾) に43エーカーの最新コンテナターミナルをオープン。初のコンピューター化したカーゴデリバリー/トラッキングシステム導入。
1981年	鉄道規制緩和に伴い、APL、鉄道会社、集荷業者間で新たな契約を結び、複合一貫輸送サービスを一段と効率化。ロサンゼルス/アトランタ間にライナートレインの運行を開始し、ノーフォーク、チャールストン、サバンナ、ジャクソンビル、マイアミを網羅。シアトルターミナルを移転。新ターミナルは46エーカーの広さもちターミナルの管理を全てコンピューター化。シカゴでも初のコンテナターミナルを開設。増大するアジアからのコンテナ貨物に対応し45フィートの長尺コンテナをアジア/北米海上輸送に初導入。
1982年	3隻の最新鋭コンテナ船C-9型 (アメリカ初のディーゼルエンジン船 2,900 TEU 積) を船隊に投入。全ての米国西海岸のターミナルをオンシャーシ (On Chassis) システムに転換し、コンテナの流動性を高めた。世界に広がるネットワークをコンピューターで統轄し、より効果的に運営するため、サンマテオにデータセンターを設置。
1983年	Diamond Shamrock Corporation が Natomas Company を吸収合併。APL は不動産部門と共に、Natomas Company から分離独立し、W.B.Seaton氏が創立した American President Companies, Ltd (APC) を持ち株会社としてニューヨーク証券取引所に上場。
1984年	超軽量の鉄道台車採用により、ダブルスタックトレイン (DST、2段積コンテナ専用列車) を世界で初めて実用化。DST により、アジア/北米間の複合一貫輸送サービスをより一層向上した。ロスアンゼルスに115エーカーのコンテナターミナルをオープン。
1985年	米国内仕様の48フィートコンテナ、背高コンテナ、幅広リーファーコンテナ、53フィートコンテナをマーケットに導入。
1988年	世界初のノンパナマックスコンテナ船C-10型 (4,500 TEU 積) 5隻投入。
1989年	ニューヨーク、サウスカーニエーターミナル (APL 専用スタックトレインターミナル) を拡充。
1990年	上海、天津、大連に APL の支社を開設、中国本土よりのサービス向上を図る。
1991年	香港船社の OOCL と共同配船を開始する。
1994年	メキシコの船社 TMM とスペースチャーターによるアジア/メキシコ西海岸のウイークリーサービスを開始。フランスの総合輸送グループ SDV と、ベルギーAntwerp に本拠を置く海運代理店業者の合弁会社の APL Agencies Europe (APLAE) を欧州・英国側代理店として指名。
1995年	大阪商船三井船舶、TSA (ネドロイド、MISC) と日本/極東～欧州共同配船サービスを開始。また商船三井/ネドロイド/OOCL の4社共同の極東・日本～北米東岸航路を開始。パナマ大西洋岸のコロン港をハブポートとして、中米/カリブへのサービス開始。
1996年	6月1日付けで、親会社の American President Companies, Ltd. は“APL Limited”と社名変更。

1997年	Neptune Orient Lines (シンガポール) が、APL Limited の既発行株式 2,460 万株を 1 株あたり 33.5 米ドルで買収し、100%子会社となる。合併後も引き続き APL のブランドで、北米、南米、欧州、アジア地域内でのコンテナ輸送サービスを提供。
1998年	商船三井 (日本)、APL (米国)、Hyundai Merchant Marine (現代商船、韓国) の 4 社で The New World Alliance (TNWA) を形成。極東・日本～北米西東岸航路週九便、アジア・北欧州航路では週三便、アジア・地中海航路をウィークリーでサービスを提供。
1999年	Land Transport Services Inc (LTS)、北米スタックトレイン部門を US\$315 億でパーサーインターナショナル インク (Pacer International Inc) に売却。
2000年	Information Week 誌が海運企業で唯一の IT 優秀企業に APL を選出。商船三井、Yang Ming など 9 船社と共同ポータルサイト、GT Nexus を構築。
2001年	APL Logistics が米倉庫系 3 PL の GATX Logistics、ドイツのフォワーダー Mare Logistik & Spedition を買収。大手小売りの Sears から優秀国際輸送賞受賞。
2002年	2002年 米国関税局と C-TPAT の署名を行う。
2003年	レール CHICAGO G3 ROCHELLE Terminal の運営開始
2004年	APL Logistics と CONCOR 社はジョイントベンチャーとしてインドのダドりに、CFS/Warehouse を開設
2006年	Brand Name: 『LINER TRAIN』を再開。APL と APL Logistics は Asia's Shipping Line of the Year 受賞
2007年	インドの鉄道運営を開始 (India Linx)
2009年	APL Logistics Ocean Guaranteed® service が、ドイツの国際輸送フォーラムで Major Innovation award を受賞 Lloyd's Loading List より、Star Performer award を受賞 (Transit time, schedule liability)